

## NEWS LETTER

# 架け橋ひろば

代表コラム

～福祉と人権の未来を語る～

## 一人ひとりに、あたたかな居場所を

一般社団法人 未来への架け橋 代表理事 長谷川 美栄

寒さがひときわ身に染みる季節となりました。澄んだ空気の中にも春の訪れを待つ気配が感じられるこの頃、皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。日頃より「未来への架け橋」の活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

私はこれまで、一人の母として重度の知的障害のある娘を育ててまいりました。将来への不安に胸が押しつぶされそうになりながら、「この子が安心して生きていける社会は本当にあるのだろうか」と自問した日々も少なくありませんでした。

しかし、その歩みの中で確信するようになったことがあります。それは、障害のある人が守られる存在としてではなく、社会を共に創るかけがえのない一員として尊重される社会こそ、私たちが目指すべき姿であるということです。

人は誰しも、ありのままの自分を受け止められる場所があってこそ、その人らしく生きることが出来ます。居場所とは単なる生活の場ではありません。尊厳が守られ、可能性が信じられ、挑戦する勇気が育まれる「人生の基盤」です。

「未来への架け橋」は、支援を提供するだけの場ではなく、一人ひとりの人生に深く向き合い、共に歩む存在でありたいと考えています。そして何より、その想いを日々の実践として支えているのは、利用される方々に真摯に寄り添い続けている現場の職員です。私は職員一人ひとりをかけがえのない仲間として信頼し、ともに学び、ともに悩み、ともに成長しながら、より良い支援を追求してまいります。

小さな成長を社会の希望として捉え、多様な人々が支え合いながら生きる地域を築いていく——その積み重ねが、より包摂的な社会の実現につながると信じています。

これからも小さな声に真摯に耳を傾け、誰もがあたたかさと感じられる居場所を育ててまいります。そして、利用される皆さま、ご家族、地域の方々、そして現場の職員と手を取り合いながら、新しい福祉のかたちを創造していく決意です。

厳しい寒さの中にあっても、人のぬくもりは心をあたためてくれます。私たちの歩みが、関わるすべての方にとってそのような存在となるよう、これからも力を尽くしてまいります。

今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

郊外行事：初詣 in 太宰府天満宮（九州国立博物館）

先日、太宰府天満宮へ初詣に行きました。  
 去年、出発前に正しい参拝の仕方をしっかり確認したので、今年は復習をして出発🚌

太宰府天満宮の赤い橋は、「過去、現在、未来」と呼ばれており開運のパワースポットにもなっています。

「過去…振り向かない・現在…立ち止まらない・未来…つまづかない。」という言い伝えがあります。皆さんその言葉を守り、振り向くことも、立ち止まることも、つまづくこともなく渡り切り、仮殿へ到着されました。

作法通り参拝を終えると、待ちに待ったランチ！！今回は江戸時代にさかのぼる老舗中の老舗である「小山田茶店」にて昼食を食べました。名物の焼きたて梅が枝餅も完食し大満足でした。後は、九州国立博物館へ行きました！！いろんな国の楽器で遊んだり、今開催されている、国宝、初音の調度展を見てとても充実した一日になりました。



地域活動：高校生交流(バスレク)

柿田川湧水群・浄蓮の滝  
 達磨山・修善寺温泉竹林の小道

静岡県立沼津商業高校「観光コミュニケーション学科」の3年生が企画した、地元観光名所を巡るバスツアーに参加しました。高校生によるガイドやレクリエーションのおかげで、地域活動で訪れたことのある場所も新鮮に感じられました。利用者さんは緊張しながらの参加でしたが、実は高校生も同じように緊張していたと後日談で知り、互いに温かい交流の時間となりました。進路が決まり、地元企業へ就職していく高校生の多くが障害者雇用に関わる可能性があることから、今回の交流が、地域で働く障害のある人への理解につながってほしいという思いも伝えました。素直でまっすぐな高校生との関わりは、思い出に残る一日となりました。今後もインクルーシブな地域づくりに向け、交流の機会を大切にしていきます。



達磨山



MIRAICOLLEGE\_MISHIMA  
 三島キャンパスの活動はこちらから

三島キャンパス：社会 ～衣類管理（アイロンがけ）～



先月の三島キャンパスの社会科の授業は、「衣類管理」をテーマに取り組みました。洗濯表示の確認や、家庭で洗えない衣類はどうすればよいか、洋服ブラシやコロコロの使い方、消臭スプレーの用途などを確認し、実際に練習しながら学びを深めました。

先日はアイロンがけにも挑戦しました。皆さん、アイロンに慣れていない様子でしたが、Tシャツのしわを丁寧に伸ばしてくれました。練習を重ねるうちに、スイスイとアイロンを扱えるようになる方もいらっしゃいました。

アイロン後は、洋服をたたむことにも挑戦しました。段ボールを使ったたたみ方を試し、段ボールを使わずにたたむ練習も行いましたが、皆さん上手にたたまれています。



ご家族からの声

「カレッジでたたみ方を習ったので、家でも洗濯物をたたんでくれるようになりました」と嬉しいお知らせをいただきました。

カレッジで学んだことを「やってみよう」と思い、実生活の中で実践してくれたこと、そしてそれがご本人の力になっていることを、私たちも大変嬉しく思います。



カレッジのひとコマ

～小さなカレッジの魅力～



各キャンパスや法人の活動は、毎月ニュースレターやSNSを通して発信していますが、そこには掲載しきれない「小さなカレッジの日常」がたくさんあります。今回は、ニュースレターやSNSではお伝えしきれなかった、キャンパスでの小さな魅力をご紹介します。

以前、皆さまにご協力いただき誕生した一般社団法人未来への架け橋の公式キャラクター「ふわり」。法人により親しみを持っていただきたいという思いから生まれ、SNSや広報誌、フライヤーなど、さまざまな場面で登場してきました。

そんな中、なんと三島キャンパスの管理者が、羊毛フェルトで「ふわり」の人形を制作してくれました。チクチク、チクチク……と一針一針を積み重ね、「ふわり」と「ミニふわり」が誕生しました。

現在は、講演会の受付に並んだり、三島キャンパスの玄関で来客の皆さまをお迎えしたりと、キャンパスの“顔”として活躍しています。

こうした何気ない工夫や手仕事は、「作ってみると良いのではないかな」といった、日々の仕事の中での気づきから、自然に生まれたものです。

その結果、利用者さんや職員の間でも、誕生当初に比べて、ふわりへの愛着が着実に育ってきています。

こうした何気ない職員の気づきの積み重ねが、キャンパスや法人全体に、そっと温かさを添えています。

彼女が作ってくれました



## 宇美キャンパス：生涯学習コース U・Sさん



みらいカレッジに来る前は、自宅から近い作業所に通っていました。その後、グループホームの体験を経て利用することになり、事業所や住む場所の名称や場所は変わりましたが、そこでの生活は15年続きました。みらいカレッジに初めて来た時は、とても緊張したことを覚えています。

みらいカレッジで好きな時間は、郊外行事です。行事の時の買い物が特に楽しいです。好きな活動や頑張っていることは運動で、体調の良い時にはカレッジの前のロータリーを歩いています。エアロバイクや踏み台昇降にも毎日取り組んでいます。

職員との関わりの中でうれしかったことは、笑顔で話しかけてくれることです。前よりできるようになったと感じていることは、自分の気持ちを伝えられるようになったことです。仕事の時に「頑張ったね」と声をかけてもらえることが、励みになっています。



## これからやってみたいことは？

24時間テレビに出てみることです。みらいカレッジで、これからも仕事をたくさんできるように頑張っていきたいと思っています。



## “利用者さんの笑顔が日々の励みへ”

## 三島キャンパス 生活支援員 宮入 美和さん



三島キャンパスで生活支援員として勤務しています。過去に放課後等デイサービスで支援員として関わった際、障害のある方々との関わりがとても楽しかったことが、この仕事を選んだ大きなきっかけです。その一方で、「この場所を出て、それぞれの進路に進んだあとも、この笑顔は続いていくのだろうか」と考えるようになりました。そうした思いから、18歳以降も学びと青春を大切にできる福祉事業型カレッジに関心を持ち、現在の仕事を選びました。

日々の支援の中で心があたたまるのは、利用者さんの何気ない笑顔です。表情の変化が少ない方から思わずこぼれた笑みや、イタズラを企んでいるようなこらえた笑顔、利用者さん同士で声をあげて笑い合う姿など、他愛もない日常の一瞬一瞬の笑顔に、やりがいとこの仕事の魅力を感じています。

今後は、障害の程度に関わらず、みらいカレッジで一人ひとりがその方らしく学びを得られる環境やプログラムづくりを、日々の支援の中で少しずつ積み重ねていきたいと考えています。そしてその歩みの先に、大学を含めたさまざまな学びの場においても、インクルーシブな学びが実現するような未来につながればと願っています。

最後に、未来への架け橋を支えてくださっている皆さまへ。

利用者さんをはじめ、ご家族、賛助会員、関係機関の皆さまのご協力のおかげで、日々の活動が成り立っています。いつも温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

1月13日（土）、当法人理事・長谷川正人が三島市民文化会館にて「卒業で終わらせない学び～障害のある若者が自分らしく生きる社会へ～」をテーマに講演会を開催しました。



みらいカレッジ三島キャンパスは、開設から1年が経ちました。より多くの三島市および近隣地域の皆さまに、当法人および三島キャンパスの取り組みを知っていただきたいとの思いから、今回の講演会を開催しました。

当日は、障害のある方ご本人やご家族、特別支援学校の教員、市議会議員の方など、さまざまな立場の方にご参加いただきました。

理事の講演のほか、みらいカレッジ三島キャンパスの管理者より、開設から1年間の実際の利用者さんの様子をスライドショーを通してご覧いただきました。質疑応答では、障害のある方からの質問も多く寄せられ、地域の活動や企業に出向き、受け入れていただくために何ができるのかを、参加者の皆さまと共に考える貴重な時間となりました。

利用者さんが地域の皆さまから支えていただくだけでなく、利用者さん自身が「地域に貢献したい」という思いを伝える機会にもなりました。

今後も一步一步歩みを積み重ねながら、「インクルーシブ社会を実現する架け橋となる～誰もが笑顔で暮らせる社会へ～」という理念の実現に努めてまいります。

ご参加いただいた皆さまに、法人の思いやキャンパスの様子が少しでも伝わっていれば幸いです。この場をお借りして、ご参加いただいたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。



## No.8：三島キャンパス ベーシックコース Kさんご家族

人生80年、いや100年の時代と言われる今、特別支援学校を卒業してすぐに就職しなくてもいいのではないかと私は思うようになりました。社会の仕組みを知り、働くためのスキルをゆっくり身につける時間があってもいい。そんな思いから、息子はみらいカレッジに進む道を選びました。人は誰でも知的好奇心を持っています。息子もその一人で、カレッジでの出来事を毎日うれしそうに報告してくれます。新しく知ったこと、できるようになったこと、友だちとのやり取り。ひとつひとつの経験が息子の中で輝き、学ぶ喜びや楽しさがあふれています。その姿を見るたびに、「学ぶことは生きる力になる」という言葉の意味を改めて感じます。最初は不安だった往復2時間の電車通学にも、今ではすっかり慣れました。車内で外国人に話しかけられても、スマホを使って自分なりに対応できるほど成長しました。小さな成功体験の積み重ねが、息子の自信につながっているのだと思います。人間は幸せになるために生まれてきたと言われます。828gという小さな体で生まれ、生死の境をさまよいながらも、ここまで力強く成長してきた息子には、「誰かのために自分ができることをする」人になってほしいと願っています。できる部分で人を助け、できない部分は助けてもらう。それは決して特別なことではなく、誰もが支え合って生きる共生社会の姿そのものだと感じています。息子には息子にしかない強みがあります。その強みを生かし、息子だからこそできることを、今も、そしてこれからも一緒に探し続けていきたい。ゆっくりでも確実に前へ進む息子の姿を見守りながら、親としてできることを積み重ねていきたいと思っています。



## 宇美キャンパス 管理者 武田由美



先日、素敵な光景を目の当たりにしました。重度の障害がある利用者さんが視野狭窄のある利用者さんに対して、トイレに一度入りかけたにも関わらず、譲ろうとされていたのです。

それだけでも素敵だなと感じたのですが、隣が空いていたため入ろうとドアを開けられた際には、相手に当たらないようにと、ご自身はドアを開けずに、相手が入られるのを待たれていました。その配慮される姿を見て、「こんなことができるのだ」と、涙が出そうになるほどの感動を覚えました。

普段の生活の中では、利用者さん同士でも、どちらかといえば配慮される側で、優先してもらった場面が多く見られます。特に、言葉の理解や状況判断が難しい方は、周りの人の動きや表情をよく観察されており、言葉ではなかなか伝わらないと感じていても、その時に受けた刺激や気持ち、想いが、自然とこのような行動につながるのだと感じました。

日々、皆さんの成長を感じながら、このような光景にたくさん出会える幸せな職場です。



### 最高の1枚

### ～今月のベストショット～

## 各キャンパスおすすめベストショット

### 宇美キャンパス



郊外行事  
初詣&博物館

### 三島キャンパス



高校交流バスツアー  
イケメン高校生と「ハイ!チーズ」

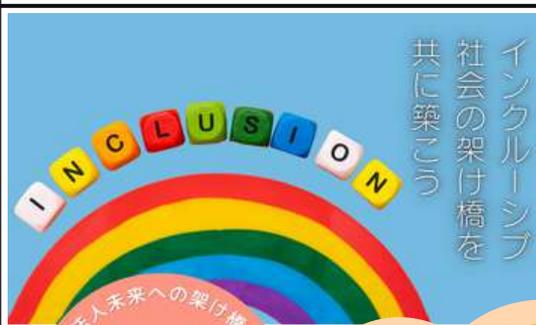
広がる架け橋コミュニティ  
ご支援、心より感謝申し上げます。

フロントップ株式会社、リーラス株式会社、公益財団法人つなぐいのち基金、ぜんち共済株式会社、一般社団法人UBUNTU FSプロモーション、株式会社入江感動経営研究所、北村悦子、酒井巳喜雄、國分幹生、篠田哲郎、奈倉京子、山中和彦、鎌倉はんこ月野允裕、倉光美奈子、倉光晃子、石山早苗、森本創、宮入卓也、小松原修、石川真希子、砂長美ん、宮崎信恵、山田千春、山本真知子、石井真人（敬称略・順不同）

※賛助会員のご紹介は、事前に掲載許可をいただいた方のみ記載しております。



法人の思いや活動にご賛同いただける方のお申込みをお待ちしています



活動内容

➤福祉啓発活動

ニュースレターやウェブサイト、SNSを活用し、活インクルーシブ社会を目指して活動内容や成果を広く発信します。

➤会員間のネットワーク構築

会員間の意見交換や共同プロジェクトを行います。

【お申込み】

【年会費（1口）】

法人	特別会員：10万円
	正会員：5万円
	賛助会員：1万円
個人	特別会員：3万円
	正会員：1万円
	賛助会員：3千円



**入会特典キャンペーン**  
代表理事 長谷川正人の  
著書を1冊プレゼント！

架け橋の会  
会員募集

読者の声・アンケート

～架け橋ひろばを読んで～

「架け橋ひろば」をいつもお読みいただき、ありがとうございます。  
皆さまからのご感想やご意見は、私たちにとって大きな励みであり、活動を続ける力になっています。

これからも心に寄り添えるニュースレターをお届けしてまいります。  
よろしければ右のQRコードよりアンケートにご協力ください。  
メールでのご感想もお待ちしております。



[info@miraicollege.com](mailto:info@miraicollege.com)

お知らせ

～講演会・イベント情報～

みらいカレッジでは、下記のお申し込みを受け付けています。  
ホームページまたはメールにてお気軽にお問い合わせください。

お問合せ先  
[info@miraicollege.com](mailto:info@miraicollege.com)

オープンキャンパス

▷こんな方におススメ  
キャンパスの雰囲気や取り組みをじっくり知りたい方

- ・管理者による概要説明
- ・ご希望に応じて体験授業や個別面談も実施

キャンパス見学

▷こんな方におススメ  
実際のプログラムや利用者の様子を見てみたい方

- ・ご興味のあるプログラムを見学可能
- ・見学後には管理者との個別相談あり

オンライン説明会

▷こんな方におススメ  
日中に時間が取りづらい方、代表理事の話を知りたい方、遠方にお住まいの方

- ・ご自宅から参加可能
- ・代表理事 長谷川正人より概要説明

理事による出張講演会

▷こんな方におススメ  
代表の想いを直接聞きたい方、団体での参加を検討されている方

- ・ご家族・親の会、教育・福祉関係者の皆様
- ・ご希望のエリアでの出張講演

## スケジュール 2月の行事・イベント予定

みらいカレッジでは、いつでもキャンパスをご見学いただけます。  
 「どんな雰囲気なのかな?」「活動を見てみたいな」など、少しでも  
 ご興味をお持ちの方は、どうぞお気軽にお問い合わせのうえ、お越しくださいませ。



SUNDAY	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY	SATURDAY
1	2	3	4 オンライン 説明会 地域活動 (三島)	5	6	7 オープン キャンパス (三島)
8	9	10	11 オンライン 説明会 マラソン大会 (三島)	12	13	14 余暇活動 (宇美)
15	16	17	18 オンライン 説明会 郊外行事 (宇美) グループホーム 見学 (三島)	19	20	21
22	23 余暇活動 (宇美) 研究論文発表会 (三島)	24	25 オンライン 説明会 地域活動 (三島)	26 職場見学 (三島)	27 保護者会 (宇美)	28

## 編集後記 広報部より

1月は三島キャンパス・宇美キャンパス共に、地域での活動を満喫した様子が各キャンパスの写真から伝わってきました。寒波の影響で、「さむう〜いい」「こんなに手が冷たくなったよ」と、皆さん口々に寒さを訴える場面も見られました。外出先では、手すりを使いながら歩く方もいらっしゃいます。

手すりを持つことで手がより冷えてしまう中、そっと「手袋あるよ」と声をかけ、自然に貸してくれる利用者さんの姿がありました。宇美キャンパスの管理者のつぶやきにもあるように、日常のふとした一瞬に表れる利用者さんの温かな気遣いに、こちらの心もあたたかくなりました。

行事や余暇活動の様子はInstagramやブログを通して紹介しておりますが、日常の何気ない瞬間や職員の工夫などはなかなかお伝えしきれていないため、今月号ではそのような1面を少しでもお伝えできたことを嬉しく思います。記事から利用者さんやキャンパス職員の温かさが少しでも伝われば幸いです。日々の活動を支える職員にとっても、こうした瞬間は大きな励みとなっています。これからも一つひとつの出来事を大切にしながら、日常を積み重ねていきたいと思っております。

まだ寒い日が続きますが、利用者さんと共に健康に気を付けながら、残りの冬を過ごしていきたいと思っております。



OPEN  
CAMPUS  
お申込み



MIRAI\_COLLEGE



学びをチカラに。未来を拓く!  
 一般社団法人 未来への架け橋

<https://mirai-kakehashi.com/>

お問  
合  
せ

〒811-2129  
 福岡県糟屋郡宇美町神武原3-1-1  
 TEL: 0120-861-821  
 E-Mail: info@miraicollege.com

